

2027 年の CIO / テクノロジ・ エグゼクティブのアジェンダ (抜粋版)

「AI への高い投資意欲」と「IT の現実」の分断を乗り越える

エグゼクティブ・サマリ

AI エージェントの活用が拡大し、テクノロジー・コストは上昇を続けている。AI は IT 部門の統制力を弱める一方で、より多くの IT 人材を必要とする。CIO には、競合し相反するさまざまな要請に折り合いをつけ、コストを削減しながら成果を最大化することが、これまで以上に強く求められている

隔たりが 2027 年の計画に及ぼす影響 (Gartner の予測)

論点 1:

IT 予算は増えているが、そのペースは AI 投資への意欲に見合うほどではない

- CIO やテクノロジー・エグゼクティブは、2027 年の IT 予算が平均 **3.7%** の微増になると見込んでいる。前年の増加率をわずかに上回るものの、インフレの影響で、多くの国では依然として実質横ばいかマイナスである
- 対照的に、ほとんどの企業は AI への投資を大幅に増やす計画を立てている。実際、エージェント型 AI への投資の平均増減率は **31.8%** と、全テクノロジー分野の中で最も高い
- CIO は、予期せぬ AI トークン・コストの超過で IT 予算のわずかな増加分が圧迫されないよう、AI コストの説明責任を明確にする施策を講じる必要がある

論点 2:

テクノロジーのオーナーシップは分散しつつあるが、説明責任は依然として中央の IT 部門に集中していることが多い

- 現時点では、あらゆるテクノロジー・ソリューション (AI エージェントを含む) のうち、中央の IT 部門外の個人やチームのみで開発されているものは、平均 **15.3%** にとどまっている。しかし今後は、ビジネス部門主導による AI ソリューションや AI エージェントの開発が拡大していくと見込まれている。テクノロジー・エグゼクティブの **80%** は、2030 年までに、AI によって IT 部門外で開発されるソリューションの総数が増加すると予測している
- 対照的に、企業の **73%** は、テクノロジー・コストやソリューションのオーナーシップに関するルールを策定する予定がない
- CIO は経営幹部を巻き込み、AI ソリューション、特に IT 部門外で開発されるものについて、ガバナンス、説明責任、コスト配分のルールを確立すべきである

エグゼクティブ・サマリ

AI エージェントの活用が拡大し、テクノロジー・コストは上昇を続けている。AI は IT 部門の統制力を弱める一方で、より多くの IT 人材を必要とする。CIO には、競合し相反するさまざまな要請に折り合いをつけ、コストを削減しながら成果を最大化することが、これまで以上に強く求められている

隔たりが 2027 年の計画に及ぼす影響 (Gartner の予測)

論点 3:

AI によるコスト削減への期待と、総所有コスト (TCO) の現実が相反している

- CIO の過半数 (58%) が、AI によるコスト改善へのプレッシャーが強まっていると回答している。その一方で、**半数 (51%)** は、AI によってテクノロジー・ソリューションのライフサイクル全体の TCO がかえって増加すると予想している
- 対照的に、これまでに AI ツールの活用によって大きな価値を得られたと回答したのは、**わずか 13%** にとどまっている。さらに、AI エージェントのガバナンス・フレームワークを策定済みの企業はわずか **21%** で、そのうちコスト抑制策を盛り込んでいるのは **43%** にすぎない
- CIO は、AI やトークンのコストだけにとらわれず、CFO と連携して「AI エコノミクス」に関する包括的なルールを策定することが求められる

論点 4:

AI による全社的な人員効率化への期待と、IT 人材の増員ニーズが相反している

- 「AI による人員削減」が大きく報道されているのとは対照的に、多くの CIO は、テクノロジー人材の規模を現状維持 (**37%**) または拡大 (**40%**) する計画を立てている。増員の可能性が最も高いのは、データ／アナリティクス (**回答者の 56%**) とサイバーセキュリティ (**54%**) のチームである
- これは、AI によって IT 部門内の各チームで業務量が急増するという予測とは整合する。しかし、前述した AI 導入によるコスト改善や人員効率化への期待とは相反している
- CIO は、人材採用の必要性を判断する前に、AI を活用して既存の IT 人材の能力を高める必要がある。その上で、AI 時代に求められるスキルや職務要件に合わせてチームのスキル向上を図れるよう、IT リーダーに権限を与えるべきである

2027 年のテクノロジー計画で備えておくべき 4 つの論点

1

IT 予算は増えているが、そのペースは AI 投資への意欲に見合うほどではない

2

テクノロジーのオーナーシップは分散しつつあるが、説明責任は依然として中央の IT 部門に集中していることが多い

3

AI によるコスト削減への期待と、総所有コスト (TCO) の現実が相反している

4

AI による全社的な人員効率化への期待と、IT 人材の増員ニーズが相反している

2027 年のテクノロジー計画で備えておくべき 4 つの論点

1

IT 予算は増えているが、そのペースは AI 投資への意欲に見合うほどではない

2

テクノロジーのオーナーシップは分散しつつあるが、説明責任は依然として中央の IT 部門に集中していることが多い

3

AI によるコスト削減への期待と、総所有コスト (TCO) の現実が相反している

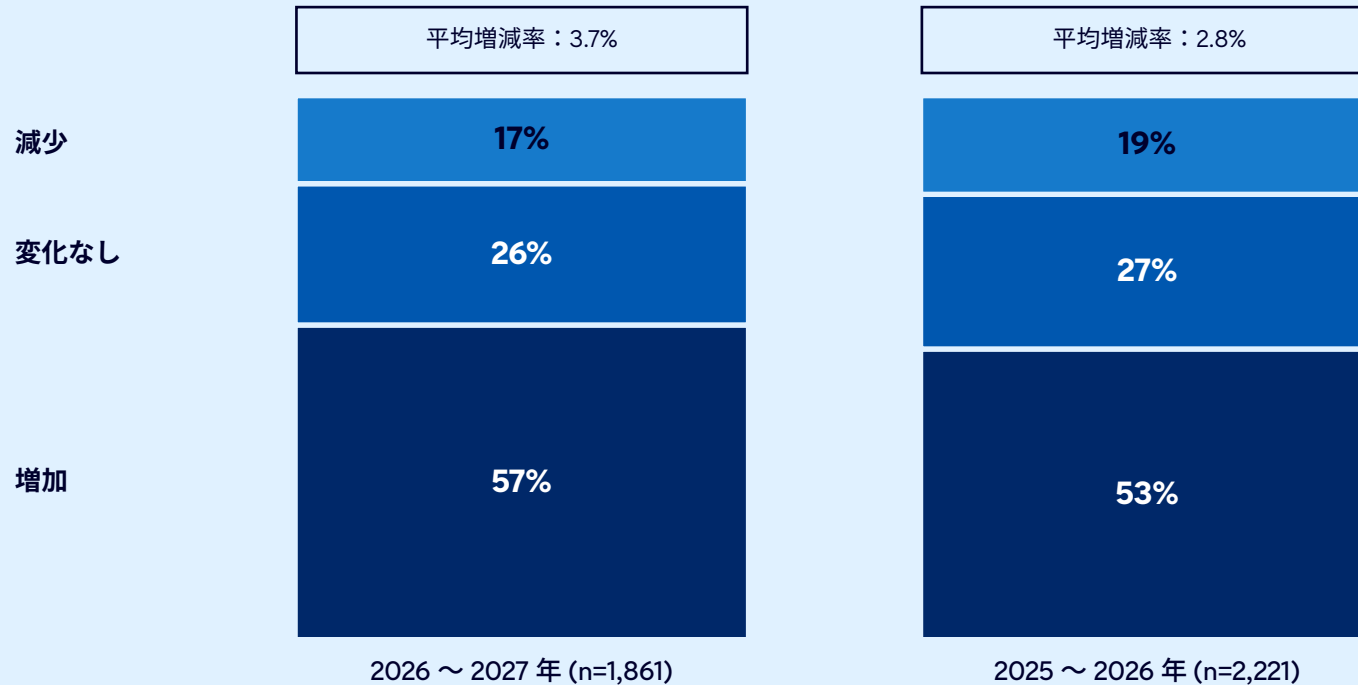
4

AI による全社的な人員効率化への期待と、IT 人材の増員ニーズが相反している

前年比微増の IT 予算で、AI 投資の大幅な拡大をまかなう見通し

予想される IT 予算の変化：2026 年と 2027 年の比較

回答者の割合



CIO やテクノロジー・エグゼクティブは、2027 年の IT 予算が平均 3.7% 増加すると見込んでいる。前年の増加率をわずかに上回る水準である。インフレの影響があるため、多くの国では、実質的な増加は依然としてごくわずかである。その一方で、AI への投資は前年比で大幅に増加すると予測されている

回答者数 (CIO およびテクノロジー・エグゼクティブの回答者) は年によって異なる (「不明」を除く)

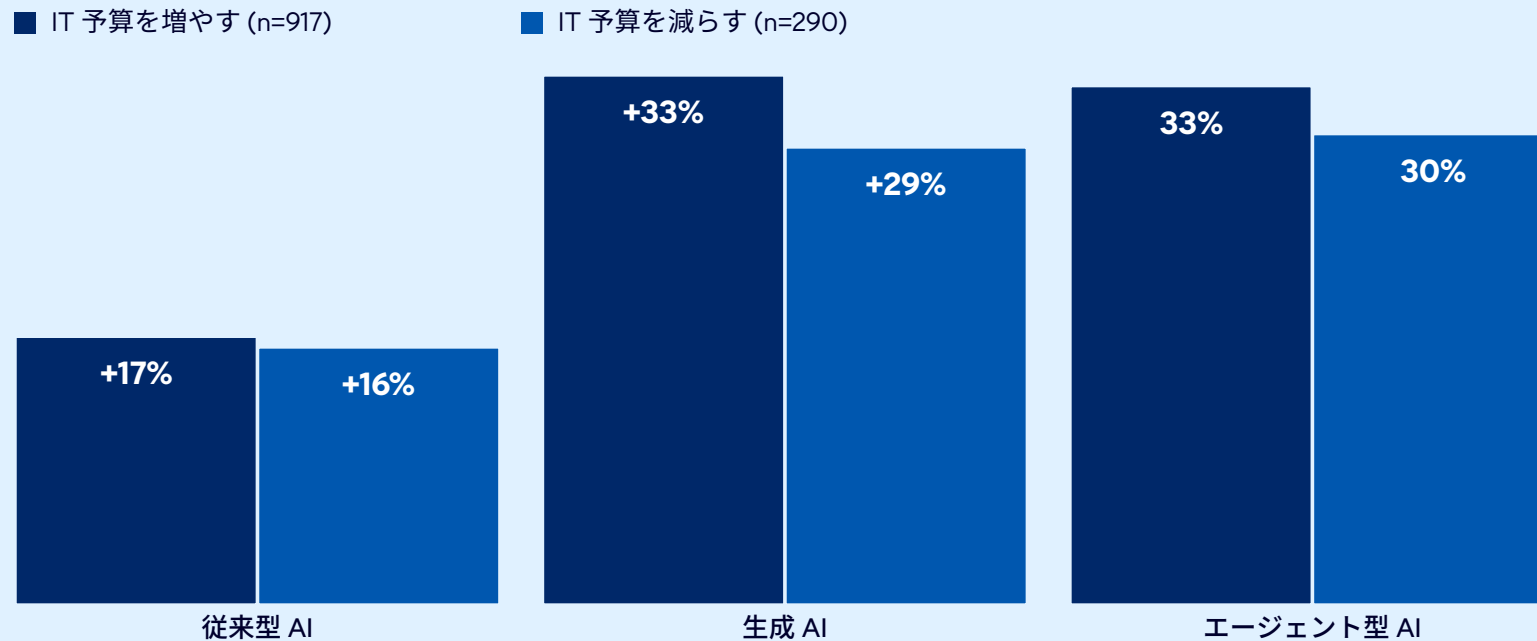
質問: 「貴社の IT 予算は、[今年] と比べ、[来年] には何パーセントの増減が見込まれますか」

出典: Gartner の 2026 年 CIO / テクノロジ・エグゼクティブ・サーベイ、Gartner の 2027 年 CIO / テクノロジ・エグゼクティブ・サーベイ

IT 予算が縮小する局面でも、テクノロジー・エグゼクティブは AI 投資を拡大

2027 年の AI / 生成 AI 投資の平均増減率 (2026 年比)

「IT 予算を増やす」と「IT 予算を減らす」の回答状況



総 IT 予算の減少が見込まれる場合でも、AI への投資は全般的に増加すると予想されている。コスト削減の圧力が強まる時期でも、AI は比較的削られにくい投資分野となっている

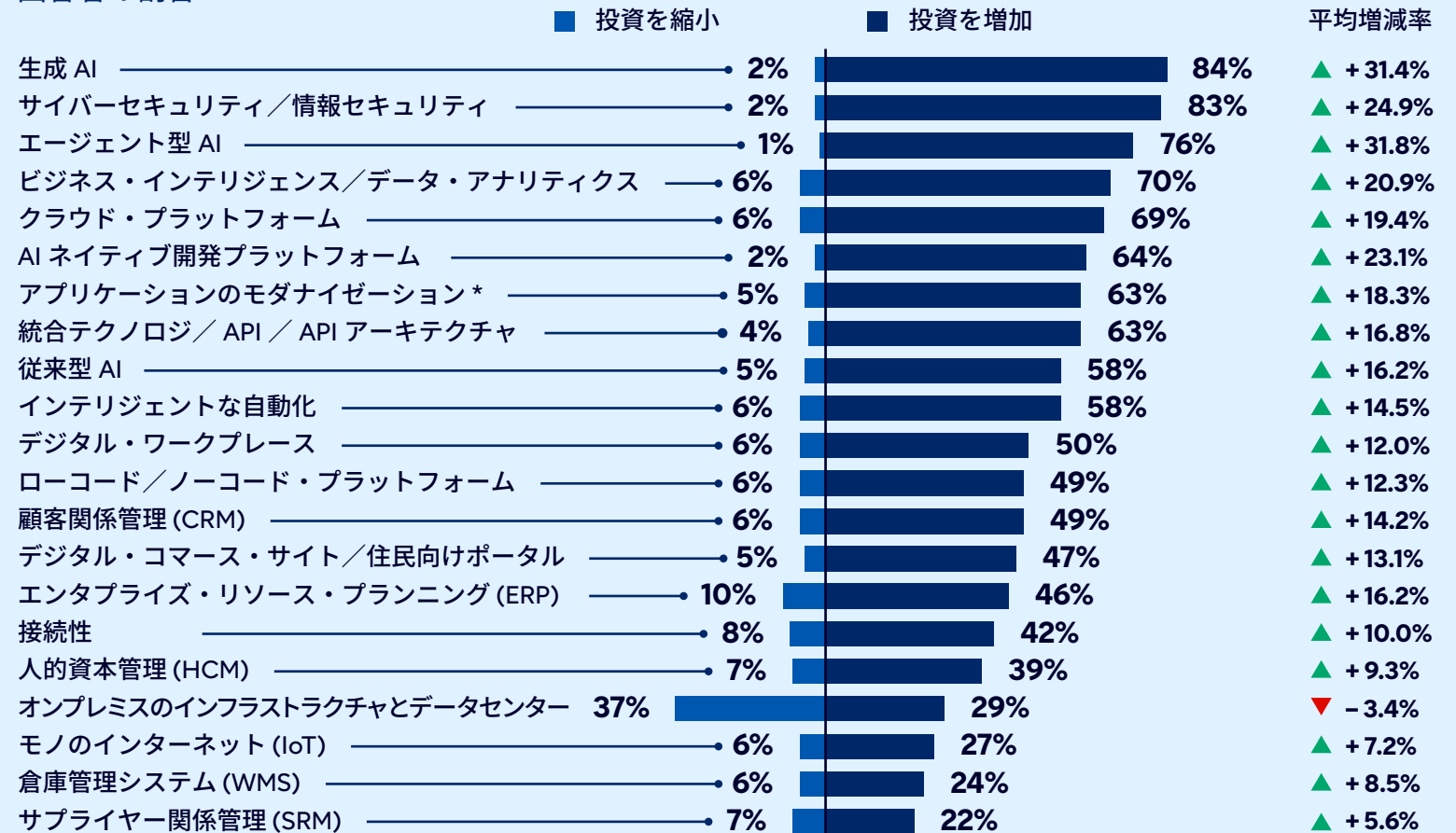
回答者数 (n) は対象グループによって異なる。回答者は CIO およびテクノロジー・エグゼクティブ
 質問:「貴社が次の各テクノロジー分野に投入する 2027 年の投資額は、2026 年と比較してどの程度増減すると思われますか」
 質問:「貴社の IT 予算は、2026 年と比べ、2027 年には何パーセントの増減が見込まれますか」
 出典: Gartner の 2027 年 CIO / テクノロジ・エグゼクティブ・サーベイ
 備考: 図表では、「変わらない」を選択した回答者の割合を省略している

先進テクノロジーへの 投資は大幅に 拡大している

企業は、競争上の差別化をもたらす
AI や先進テクノロジーへの投資を積極
的に増やしている

2026 年から 2027 年にかけてのテクノロジー投資の変動

回答者の割合



n= 約 1,962、CIO およびテクノロジー・エグゼクティブ

質問：「貴社が次の各テクノロジー分野に投入する 2027 年の投資額は、2026 年と比較してどの程度増減すると思われますか」

出典：Gartner の 2027 年 CIO / テクノロジ・エグゼクティブ・サーベイ

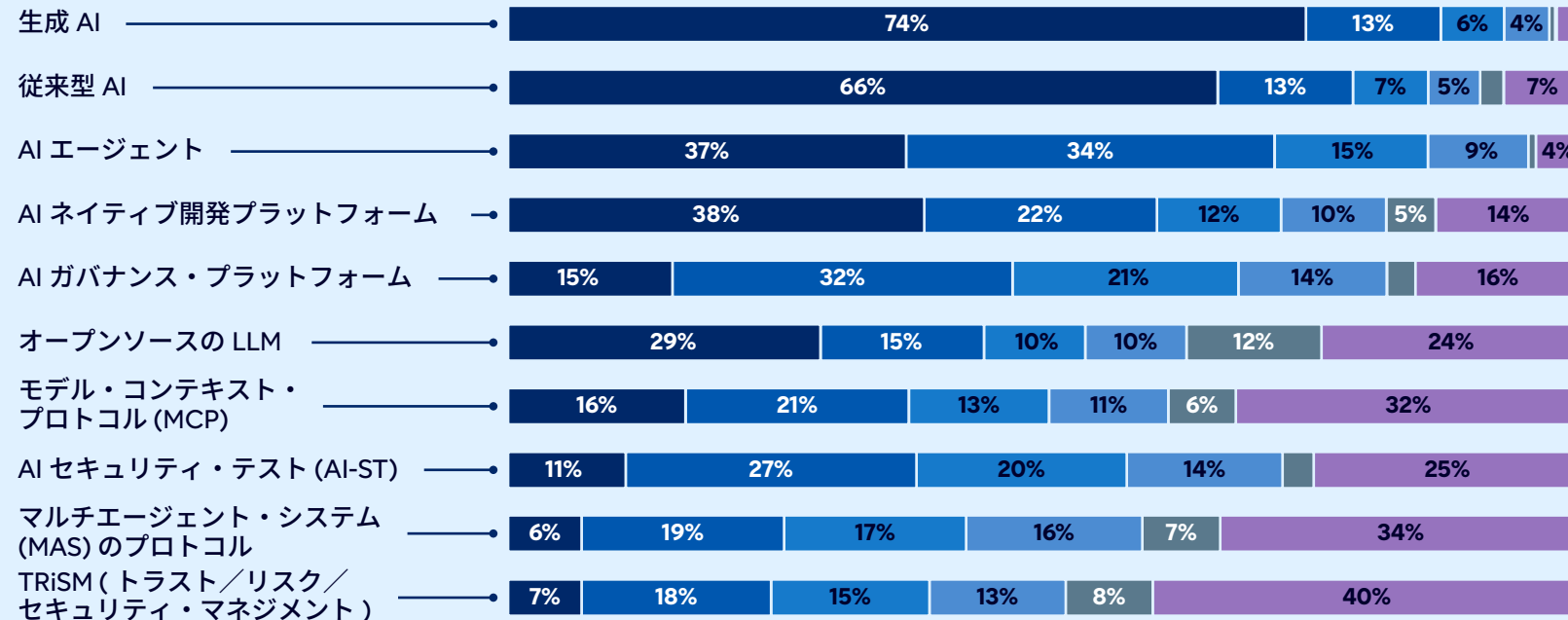
備考：図表では、「変わらない」を選択した回答者の割合を省略している

* アプリケーションのモダナイゼーションは、他の項目に含まれるものを除く

意欲的な AI テクノロジー導入計画

AI テクノロジーの導入状況

■ 既に導入済み ■ 1年以内に導入予定 ■ 関心がない ■ 1～2年後に導入予定 ■ 2～3年後に導入予定 ■ 不明



2027 年には、AI エージェントの導入が一般的になる。企業は AI エージェントを拡大する準備ができているように見える。しかし、その管理に必要なガバナンスの仕組みを導入する準備が整っている企業は、はるかに少ないとみられる。CIO にとっての課題は、AI エージェントを導入することではなく、説明責任、セキュリティ、ガバナンスを確保することである。

n=2,002、CIO およびテクノロジー・エグゼクティブの回答者

質問:「貴社は以下の AI テクノロジーに関して、どのような導入計画を立てていますか」

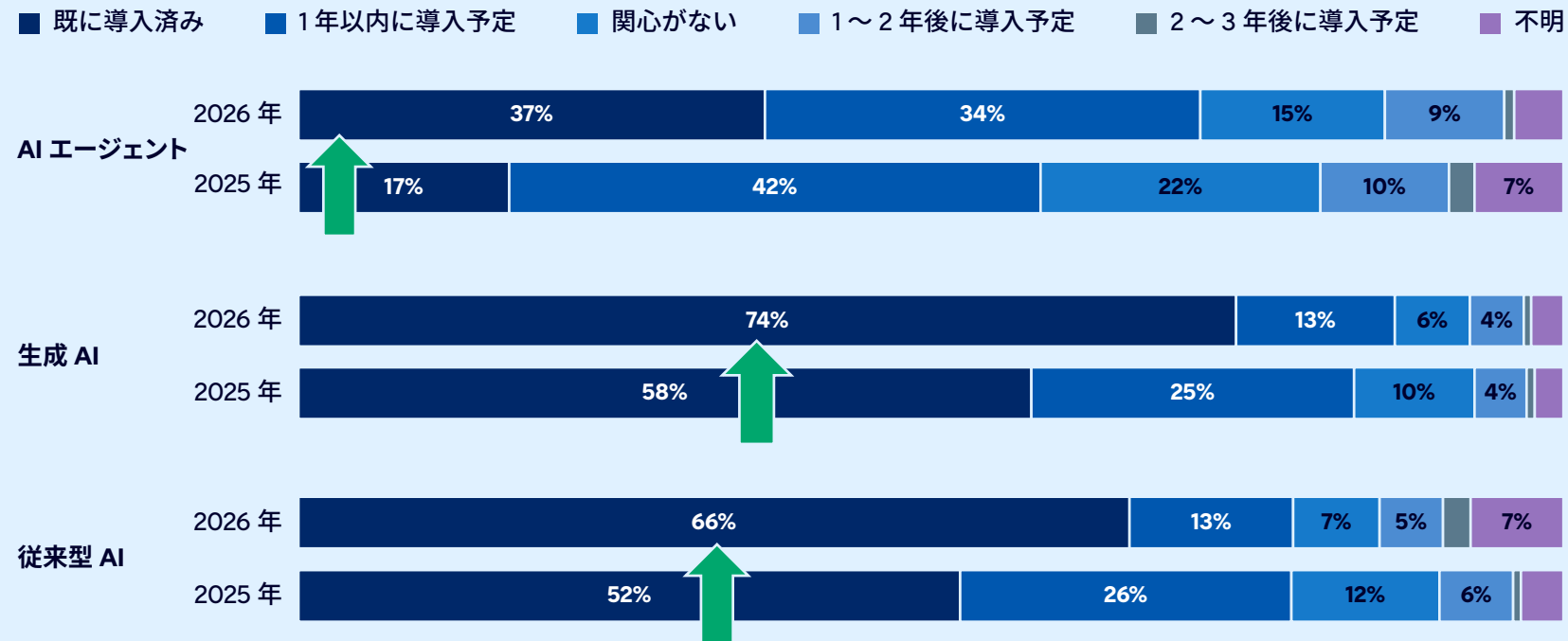
出典: Gartner の 2027 年 CIO / テクノロジ・エグゼクティブ・サーベイ

備考: 4% 未満のデータ・ラベルは省略されている

AI 導入率は前年から急上昇

AI、生成 AI、エージェント型 AI の導入状況

回答者の割合



テクノロジー・エグゼクティブは AI と生成 AI の導入を進め、現在はエージェント型 AI へと取り組みを広げている。エージェント型 AI を導入している回答者の割合は、1年間で倍増している。こうした進展は、AI の次なるフロンティアを活用し、ビジネスへのインパクトを高めようとする戦略的な姿勢の表れである

n=2,487 (2025 年)、2,002 (2026 年)、CIO およびテクノロジー・エグゼクティブの回答者

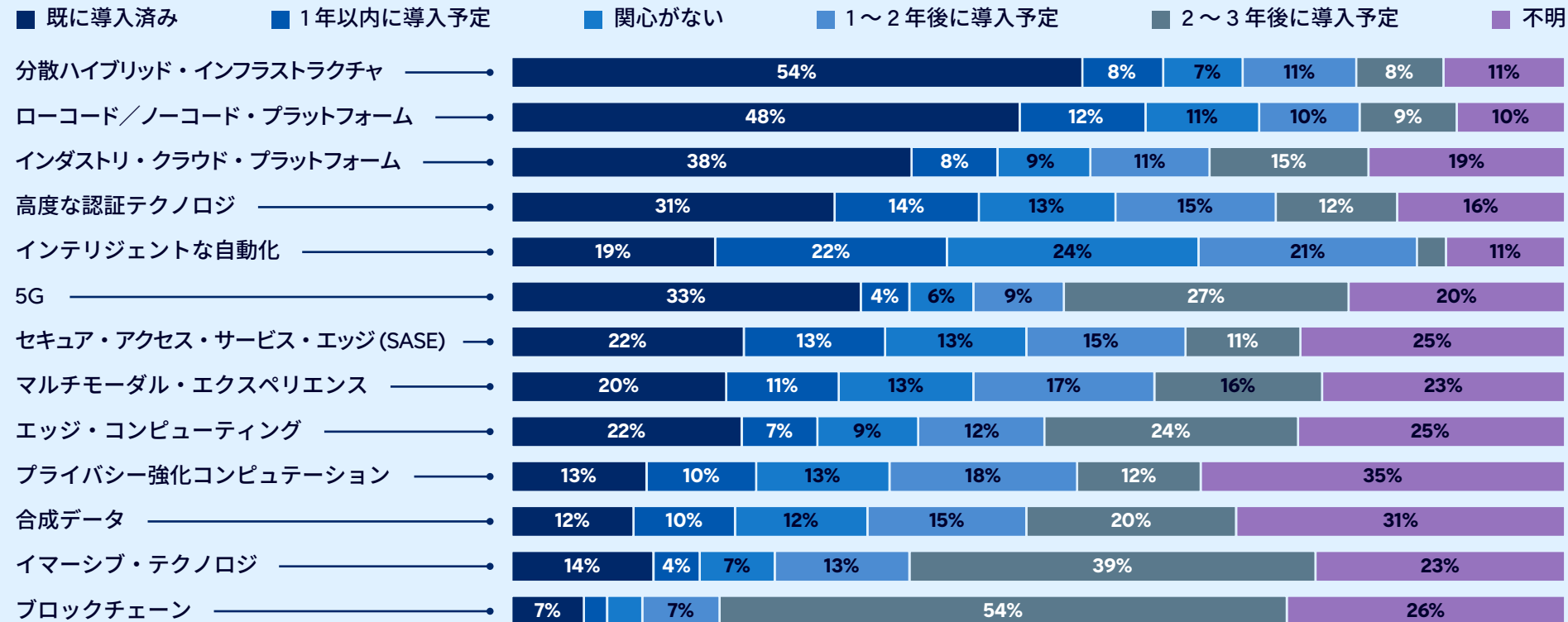
質問:「貴社は以下の AI テクノロジに関して、どのような計画を立てていますか」

出典: Gartner の 2026 年 CIO / テクノロジ・エグゼクティブ・サーベイ、Gartner の 2027 年 CIO / テクノロジ・エグゼクティブ・サーベイ

備考: 5% 未満のデータ・ラベルは省略されている

その他のデジタル・テクノロジーは導入ペースにばらつき

デジタル・テクノロジーの導入状況



n=2,002、CIO およびテクノロジー・エグゼクティブの回答者

質問：「貴社は以下のデジタル・テクノロジーやトレンドに関して、どのような計画を立てていますか」

出典：Gartner の 2027 年 CIO / テクノロジ・エグゼクティブ・サーベイ

備考：4% 未満のデータ・ラベルは省略されている

CIO / テクノロジ・エグゼクティブのアクション項目

	推奨事項	関連するインサイト
IT 予算は増えているが、そのペースは AI 投資への意欲に見合うほどではない	AI の利用と支出を抑制するために、厳選された AI マーケットプレースを構築する 厳選された AI マーケットプレースを通じて、承認済みのツールやサービスをビジネス部門で利用できるようにする。一定の統制の下で選択の自由を与えつつ、統制やガバナンスの及ばないソリューションの構築を抑制できる。また、ベンダーに対する交渉力を維持できる。さらに重要なのは、どのビジネス部門が AI コストを生み出しているかをリーダーが把握し、コスト抑制策を講じられるようになることである	Webinar: How to Scale AI Agents Without Losing Control ↗ Webinar: Place Bets on Cloud AI Providers That Will Drive Success in AI Markets ↗
	「ゾンビ AI」を断固として打ち切る 放棄または停滞した AI プロジェクトの中には、ビジネス価値を生まないまま稼働を続け、運用予算やクラウド・リソースを消費し続けているものがある。こうしたプロジェクトに「中止基準」を設ける。運用予算を食いつぶされる前に、どのようなソリューションを「ゾンビ AI」とみなすかを定め、早期に見極めるためのルールを設ける	Webinar: AI at Work: Why AI Efforts Stall — and How to Fix Them ↗ eBook: Accelerate Enterprise AI Value Realization at Scale ↗
	すべての AI 投資について、90 日以内に成果を検証する AI 施策に期待されたビジネス価値が 3 カ月以内に実現せず、かつ状況が改善する明確な兆候も見られない場合は、「ゾンビ AI」とみなし、中止する	Webinar: How CIOs Can Strategically Manage Unpredictable AI Costs ↗ eBook: AI 時代の CIO が目指す戦略的コスト最適化 ↗

2027 年のテクノロジー計画で備えておくべき 4 つの論点

1

IT 予算は増えているが、その
多くは AI 投資への期待に見

2

テクノロジーのオーナーシップ
は分散しつつあるが、説明責
任は依然として中央の IT 部門



本 eBook は「CIO / テクノロジ・エグゼクティブのアジェンダ」
(全 32 ページ) の抜粋版です。

レポートの全文や CIO アジェンダに関する一連のインサイト
(業界別／地域別のベンチマーク・データを含む) を
ご覧になりたい方は、こちらまでお問い合わせください。

3

AI によるコスト削減への期待
と、倫理を考慮した AI の活用

4

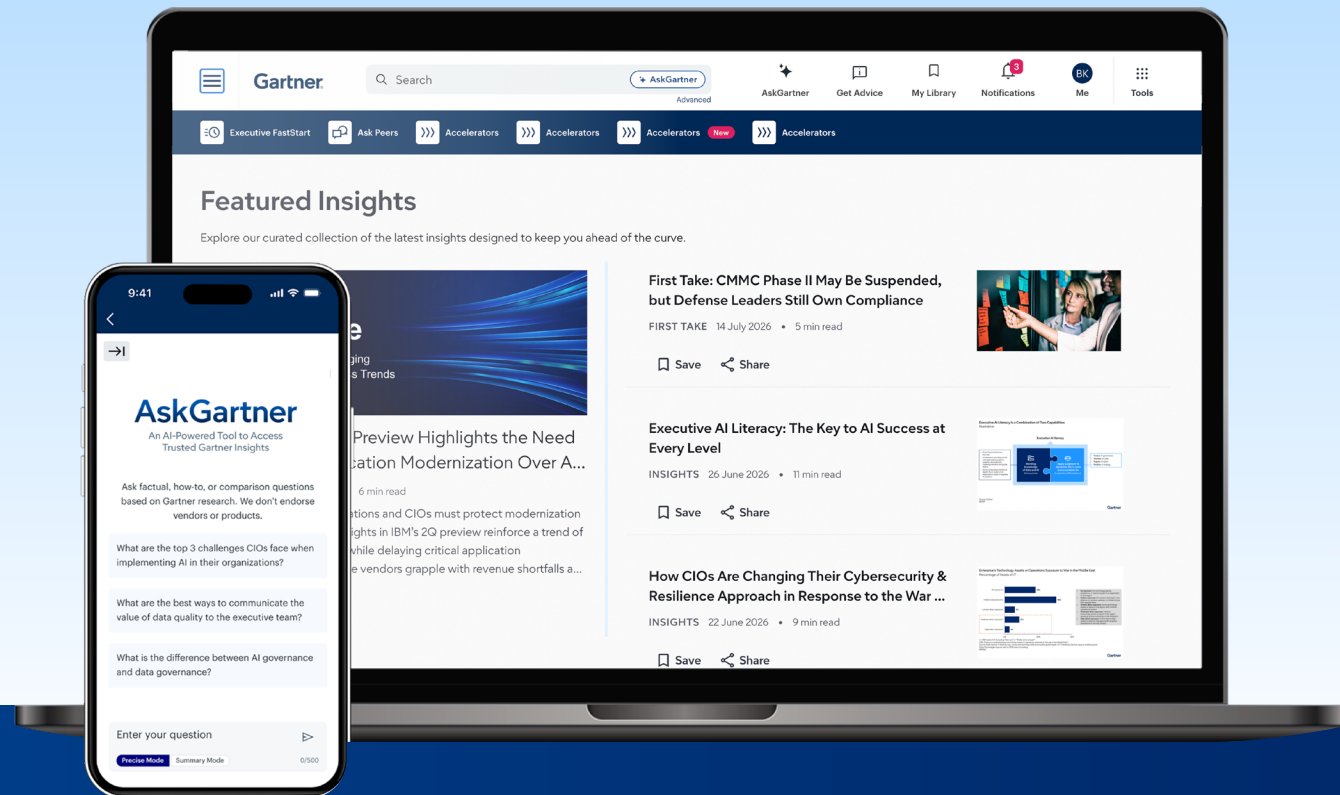
AI による全社的な人員効率化
への期待と、人材の適応

お問い合わせ

CIO とそのチームに向けた 信頼できるインサイト

CIO が価値を提供する方法はAIによって刷新されつつあり、サイバーセキュリティの脅威は増大を続け、コスト面でのプレッシャーは将来の投資を脅かしています。あらゆる意思決定がかつてないほど重要になっており、信頼できるインサイトが不可欠になっています。

Gartner では、2,400 人以上のアナリストから成るグローバル・チームが、1万 1,000 人以上の CIO メンバーと 1万 4,000 社以上の顧客企業から得たインサイトを集約しています。現在の優先事項、課題、ベスト・プラクティスについて比類のない実践的なインテリジェンスを提供し、CIO が確信を持って意思決定の妥当性を判断できるよう支援しています。



Gartner は、CIO が以下のような意思決定を速やかに下せるよう支援しています



成長の促進

IT を組織の戦略的な成長の原動力と位置付けるテクノロジー投資を行う



リスクの軽減

市場の変化を予測し、脅威の先手を打ち、戦略上の落とし穴を回避し、考え方を問い直す



コストの削減

新たな効率化の方法を導入し、テクノロジー購入の評価を改善し、より成果の大きい取引を実現するために交渉する

→ CIO が成果を生み出すための戦略的インサイト

Gartner の カンファレンスに参加して、 IT 戦略を前進させましょう

CIO は、デジタル・ビジネスモデルを加速させ、未来の働き方を実現し、ビジネスの成長を促進するために、C レベルの幹部層と協力して IT 部門を超えて組織をリードし、自らの影響力を拡大する必要があります。

Gartner の CIO 向けカンファレンスでは、重要な優先課題の解決に役立つ、ワールドクラスのインサイトを入手できます。



ぜひご参加ください

カンファレンス・カレンダーで、
ご自身に最適なカンファレンスを今すぐ確認できます。

→ CIO のネットワークを築く

51 万件以上

年間での顧客とのやりとりの総数。
そのインサイトを基にアジェンダを厳選

2,400 人以上

ここでしか得られない助言や、会場での個別
相談を提供するビジネス・テクノロジー・イン
サイトのアナリスト

6 万人以上

ビジネス・テクノロジー・インサイトの意思
決定者や専門家の年間参加者数

1,000 社以上

テクノロジーの最前線にいるソリューション・
プロバイダー



実用的で客観的なインサイト

CIO のためのリソース／ツールを無償でご利用いただけます。

Webinar



The Priorities Defining CIO Success
for 2027: Insights
From the CIO Survey

他社の CIO がどのように AI へ投資し、
成功につなげているかをご紹介します。

今すぐ視聴 (英語)

Virtual Briefing



Art of the 1-Page Strategy:
Effectively Communicate for
Strategic Impact

戦略コミュニケーションを変革し、
全社の賛同を得る方法を解説します。

今すぐ視聴 (英語)

Tool



AskGartner

信頼できる Gartner インサイトを得るための
AI 搭載ツールを紹介します。

詳細を見る

Virtual Briefing



AI 時代の IT オペレーティング
モデル変革—成果創出を加速する
方法

先進企業が AI を活用して IT 運用の俊敏性、
効率性、習熟度、パフォーマンスを飛躍的に
高めている方法を解説します。

詳細を見る

Gartner のお客様は、クライアント・ポータルでさらに多くのリソースをご利用いただけます。 [ログイン](#) ↗

Connect With Us

Gartner は、経営幹部およびそのチームに対し、実行可能かつ客観的なビジネスおよびテクノロジーのインサイトを提供します。Gartner のエキスパートによるガイダンスやツールは、組織の重要な課題について、迅速で優れた意思決定と大きな成果の創出を可能にします。

お問い合わせ

CIO の成功を支援する Gartner のサービス
gartner.co.jp/ja/chief-information-officer

最新のインサイトをご確認ください



Gartner のコンファレンスにご参加ください
[コンファレンスの最新情報を見る](#)